

住宅の省エネ設計に
悩んだら…

住宅の省エネルギー設計を速やかに理解し実践できる

Zoom ウェビナーを使用した
オンライン講習会

「自立循環型住宅設計講習会」 温暖地版

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（東京都千代田区 理事長 村上周三）は、国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所及び民間企業との共同研究成果の一環として制作した、住宅の省エネルギー設計に関するガイドライン『自立循環型住宅への設計ガイドライン』を使用した温暖地版講習会を、下記の通り開催することになりましたのでご案内いたします。

省エネルギー住宅を設計する際の基本的な考え方、取り組み方を示し、省エネルギー手法とその効果を総合的に学ぶことができるようにプログラムを構成し、幅広い受講者を対象にしています。

「建築物省エネ法」が令和元年 5 月 17 日に公布され、戸建住宅においては**設計者から建築主への省エネ性能に関する説明の義務付けが創設**され、今後、住宅を設計、建設または供給する際には、「省エネルギー設計手法と定量的な効果把握」の知識とスキルが更に求められているといえます。

ご自身の省エネ設計知識への不安や悩み解消・スキルアップに是非ご受講ください。

— 講習会の内容及びテキストについて —

『自立循環型住宅』は、特殊な技術や未完成の技術を用いることなく一般的に入手できる手法・技術の組み合わせで、居住性や利便性の水準を向上させつつも、住宅の居住時のエネルギー消費を 50%削減することを目指した研究プロジェクトのブランド名です。

講習会で使用するテキスト『自立循環型住宅への設計ガイドライン』は、特に**実住宅設計において考えるべき省エネルギー技術を網羅**するとともに、**手法毎の省エネルギー効果は実効性能から考える年間のエネルギー消費量の把握を重視**し、記載する根拠の多くは実証をはじめとして独自に取りまとめており、その成果は省エネルギー基準に関する技術情報やプログラムにも活用されています。

この『**温暖地版** 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は講習会受講者のみの配付となっており、一般には販売致しておりませんが、受講者の皆様の中で、省エネルギー基準による地域区分の 7 地域・8 地域向け『**蒸暑地版** 自立循環型住宅への設計ガイドライン』、もしくは 3 地域・4 地域) 向け『**準寒冷地版** 自立循環型住宅への設計ガイドライン』を実務上必要とされ、頒布を希望される場合には、受講者ご本人がご使用いただくことを前提に、おひとり 1 冊限りでご購入いただくことが可能です。

購入方法の詳細は、講習会当日 事務局よりご案内をさせていただきます。

本講習会を通じて住宅の省エネルギー性能の向上と快適な住まいが広がることを期待しています。



開催概要

- 名称：自立循環型住宅設計講習会 温暖地版
- 主催：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構
- 方式：**Zoom ウェビナーを使用したオンライン講習**
- 日時：2020年11月12日（木）10：00～16：20
- 定員：50名
- 受講料：9,000円／1名（テキスト・消費税込）税別 8,182円

※日本以外の国からご参加の場合は、受講料（資料送料差額）が変更になりますので、事前に事務局までお問合せ下さい。

- 資料：『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』※資料は事前に送付いたします。
- 講師：※講師は依頼済ですが、万が一やむを得ない事情により講師が他の設計ガイドラインの執筆関係者に変更になる場合がございます。

国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅性能研究官	桑沢保夫氏
高知工科大学 システム工学群 社会システム工学教室 准教授	田島昌樹氏
東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授	前 真之氏
国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部 主任研究官	山口秀樹氏
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構	事務局

- プログラム：※プログラムは当日講師により順番が前後する場合がございます。

I	自立循環型住宅と省エネルギー
II	自立循環型住宅の設計プロセスと要素技術の概要
III	自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）
	1）自然風の利用・制御
	2）昼光利用（太陽光の利用・1）
	3）太陽光発電（太陽光の利用・2）
	4）日射熱の利用（太陽熱の利用・1）
	5）屋根空気集熱式ソーラーシステム（太陽熱の利用・2）
IV	建物外皮の熱遮断技術（要素技術の適用手法・2）
	1）断熱外皮計画 2）日射遮蔽手法
V	省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）
	1）暖冷房設備計画
	2）換気設備計画
	3）給湯設備計画
	4）照明設備計画
	5）高効率家電機器の導入
6）コージェネレーションシステムの導入	
VI	省エネルギー効果の評価と設計における活用

申込方法

1. 下記銀行口座に受講料をお振込ください。

※振込手数料は貴社にてご負担下さい。※複数名での参加の場合は、まとめてお振込みいただいても構いません。

銀行振込

銀行名	三井住友銀行 東京公務部(店番号 096)
預金種目	普通預金 口座番号 22593
受取人	一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

郵便振替

加入者名	一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
口座番号	00190-8-131243

※郵便振替用紙の通信欄に、「自立循環型住宅設計講習会」と明記してください。また、払込人住所氏名を必ずご記入ください。

2. 振込後、金融機関発行の払込金受領書、または銀行送金帳票など入金内容がわかる明細のコピー（PDF形式）もしくは写真（JPEG形式）をご準備下さい。（2MB以下）

3. 受付フォーム（<http://www.jjj-design.org/lecture/201112ibec/>）にて必要入力項目のご記入と、2の入金内容がわかる明細書を添付の上、お申込み下さい。

※複数名での参加の場合は、お手数ですが申込はお一人様ずつの入力をお願い申し上げます。

（受講料をまとめてお振込みいただいた場合は、受付フォームの通信欄にその旨ご記入下さい。）

4. ご登録完了後に自動返信メールが送信されますので必ず受信を確認してください。

※数分以内にメールが届かない場合は、受信側のセキュリティにより「迷惑メール」フォルダに分類、または受信拒否やご登録のメールアドレスに誤りがある可能性等が考えられます。メールが見つからなかった場合には、下記の間合わせ先までご連絡下さい。

5. 手続きが完了しましたら、Zoom ウェビナー登録システムを使用して、ご登録いただいたメールアドレス宛に Zoom 受講用 URL とパスワードをご案内させていただきます。

※URLは他の人と共有できません（受講者毎にURLが異なります）。また複数の機器(PCとタブレット等)を同時に使用して参加することはできません。

6. 資料『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』の送付は、11月4日(水)頃発送を予定しております。

注意事項

- イ. 講師は、急な都合により変更となることがあります。予めご了承下さい。
- ロ. お申し込みは先着順で定員になり次第締め切ります。予約は受け付けておりません。
- ハ. 納入された受講料は原則として返金致しません。但し定員の都合上お断りする場合は返金いたします。
- ニ. 領収書は、金融機関が発行する振込金受領証等をもって領収書に代えさせていただきます。
- ホ. 当日欠席された場合、期間限定にて録画した動画のストリーミング配信(Zoomを予定)をもって代えさせていただきます。キャンセルはお受けできませんので十分ご注意ください。

受講により得られる証明等

1. 本講習会は、建築 CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度の認定プログラム（申請予定）です。本制度は建築関連団体により構成される建築 CPD 運営会議が実施するもので、内容については、（一財）建築技術教育普及センターホームページをご覧ください。なお、本講習会は受講資格を設けておりませんので、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。
2. 当日講習会を最初から最後まで受講された方には、受講修了証を発行いたします。受講修了証の発行には全プログラムの受講が必要となります。

問合わせ先

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 建築省エネルギー部 青木・今井
住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル麹町館 2 F
電話：03-3222-6946 電子メール：jiritsu1@ibec.or.jp

◇本申込みにより当財団が取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- ・本講習に係る案内及び連絡、受講票の送付
- ・その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法に定める事項については、当財団のホームページ(<http://www.ibec.or.jp/>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。（電話：03-3222-6681）